

石狩の風の名前

石狩市は石狩湾に面し、北の大河、石狩川が流れていることから、古くから漁業がさかんでした。自然を相手にする生業では、天候を予測するのは生活上の必須条件でした。とくに海などに出て危険の多い漁業では、天候変化を読めないことは生死にかかわる問題です。このために風向きを読んで日和ひよりを見るのが習慣となりました。こうした理由から風を識別するため、名前がつけられました。現在では天気予報の発達により、風を読むことは重要ではなくなりましたが、基本的な名前は表のとおりです。

石狩の風は大別するとオキカゼ系とヤマセ系になります。オキカゼ系とは簡単にいいますと海から吹く風で、ヤマセ系はその反対の陸から海に吹く風です。

風と天気については、一言では難しいのですが、例えば石狩市では、ヤマセは時化しげや雨をもたらす風です。冬から春にかけての雨をともなう強風はほとんどがヤマセです。また冬の石狩名物の吹雪はタマカゼ、北西風の場合が多い。ことにアイタバカゼは、大きなうねりをともない、海難事故を起こす風で、漁業者には大敵の風です。

ダシカゼは、（帆船が）沖にでるのに都合がよいという意味で、動力船普及以前に生まれたものと考えられます。

（石橋孝夫）

石狩の風の名前

方角		風の名前		
北	子	ヤマセ系	シモヤマセ	アイノカゼ、シモカゼ、シモゲ
北東	牛寅			良門（者？）
東	卯			アラシ、ヤマセ、ダシカゼ
南東	辰巳	オキカゼ系	ヤマセ	ダシカゼ、クダリ、ホンヤマセ
南	午			クダリヤマセ、クダリ、カミカゼ
南西	未申		ヒカタ	ヒカタヤマセ、ホンヤマセ
西	酉	オキカゼ系		ニシ、ヒカタ、オキカゼ
北西	戌亥		タマカゼ	ヒカタタマカゼ、タンバ、寿都門（者？）、ニシタンバ、アイタマカゼ

（1）田中 寛（1988）イシカリと風. いしかり暦7号, 石狩町郷土研究会.